

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第6週（令和6年2月5日～令和6年2月11日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第6週は、今年1例目となるE型肝炎の報告がありました。E型肝炎は、E型肝炎ウイルスによる感染症で、ウイルスに汚染された水や氷、野菜や果物、肉類（特に、ブタ、イノシシ、シカ等）を生で食べることによって感染します。ウイルスに感染した後、15～50日間（平均6週間）の症状のない期間があった後、急な発熱、全身倦怠感、食欲不振、吐き気・嘔吐が見られ、数日後に黄疸がみられます。症状が軽い場合もありますが、重症の場合、回復するまでに数週間から数か月かかることもあります。妊婦が感染すると重症化することが多く、死亡する可能性も高くなります。特別な治療はないため、食事の前の手洗い、十分に加熱された飲食物の摂取による予防を心がけましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	67	238	1,077
E型肝炎	1	1	12	54
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9	19	154
急性脳炎	1	4	5	58
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	32	239
侵襲性肺炎球菌感染症	3	16	39	317
水痘（入院例）	2	3	8	32
梅毒	3	75	175	1,004

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	2,308	11.66	0.83	79,605	16.15
インフルエンザ（警報レベル）	11,184	56.48	0.98	111,501	22.62
RSウイルス感染症	12	0.10	1.09	379	0.12
咽頭結膜熱	98	0.82	0.77	3,600	1.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（警報レベル）	988	8.23	0.91	14,487	4.63
感染性胃腸炎	589	4.91	0.81	23,266	7.43
水痘	24	0.20	0.71	434	0.14
手足口病	36	0.30	0.80	684	0.22
伝染性紅斑	0	0.00	-	61	0.02
突発性発しん	34	0.28	0.87	630	0.20
ヘルパンギーナ	2	0.02	0.50	82	0.03
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.25	91	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	6	0.23	0.43	368	0.53
細菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	37	0.08
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	6	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。